

〔共同研究〕

女性のことばと世代（Ⅱ）

遠 藤 織 江 小 林 美 恵 子
高 崎 み ど り 中 島 悦 子

— はじめに —

今年度の共同研究では、昨年に引き続き鈴木家・内藤家の座談資料を用い、言語使用の意識や実態、また会話の運び方などの世代差について調査を行った。

資料とした鈴木家・内藤家の座談は、1992年5月17日に小林が両家を訪問し、それぞれの家族に約2時間の話し合いをしていただき、録音した資料を文字化したものである。この座談では、おもに家族間での呼称やことばの使い分け、またことばのしつけや女性のことばのありようについてどう思うかなどをテーマに話し合った。また女性の写真を見たり、インタビュー録音を聞いて感想を自由に話し合ってもらったり、いくつかの場面を想定して、その場合どのようなことばを使うかを各人に答えてもらった。それぞれの参加者は次のとおりである。

S家（鈴木清美さん一家）……板橋区在住

K……祖母 82歳 東京出身

C……母 Kの長男の妻 53歳 東京出身

M……Cの娘 20歳・大学3年 東京出身

N家（内藤晶子さん一家）

Y……曾祖母 88歳 山梨出身 長男一家とともに鶴見在住

H……祖母 Yの長女 65歳 横浜生まれ。山梨で9歳まで育ち、以後
鶴見在住 夫と死別し現在は一人暮らし

U……母 Hの長女 45歳 鶴見出身 千葉在住 ヨガ教室主宰

A……Uの娘 20歳・大学3年 千葉出身 千葉在住

N……Uの夫 Aの父 49歳 東京出身 千葉在住 会社員

S（司会・S家N家ともに）小林美恵子……40歳 山梨出身 東京在住
高校教員

座談の内容、および参加者のさらに詳しい紹介については『ことば』13号「〔共同研究〕女性のことばと世代」を参照されたい。

録音資料の文字化については小林が行なった。すでに13号に鈴木家資料の全文を掲載し、文字化の基準等についても説明してある。（資料・女性のことばと世代 — 鈴木さん一家 — ）内藤家の資料についても鈴木家の場合と同様の基準によって文字化した。後にその一部を紹介する。なお、昨年13号には、内藤家資料についても14号に全文掲載の予定、としたが、紙面の都合等もあり割愛せざるを得なかった。お許しいただきたい。

今回の研究については、次のように分担して行なった。

- ① 話しことばの中の格助詞の使用 遠藤 織枝
- ② 話しことばに現れる世代差 — 縮約形 中島 悦子
- ③ 四代のことばと<コ・ソ・ア> 高崎みどり
- ④ 座談における話題の転換 小林美恵子

なお共同研究の整理統一についても小林が行なった。以下に各々の論文を掲載する。

（資料・内藤さん一家一部抜粋）

001S01 じゃあ あの はじめさせて ください／

002U01 はい／

003S01 で あの さいしょに わたくし もう 一度 自己紹介を させて いただきます／

02 あのー 小林美恵子と もうします／

004U01 はい／

005S01 で あのー 年は えー ちょうど 四十（しじゅう）に なりまして／

006U01 ああ／（笑）

007S01 あの 中学生と 小学生の 子供がおります／

02 で あのー じつは 山梨県の うまれなんです／
 008M01 ああ そうなんですか？／
 009H01 ◆あら あら／
 010S01 ええ 山梨県の 大月市です／
 011H01 ◆山梨県だって／
 012N01 ◆あー 大月で／
 013S01 大月の うまれで 高校生までは 大月で そだちまして で
 大学から 東京で あとは ずっと 東京なんですけれども／
 014Y01 ああ 大月／
 015S01 はい／
 016N01 おばあちゃんも 大月に すんでられた／
 017Y01 えっ／
 018N01 大月の 近くに すんでられましたよね／
 019Y01 うん そう 大月の 人を もらったんだから／
 020U01 ああ そう そう／
 021N01 ◆あ 今度の およめさんを 息子さんがね／
 022U01 ◆今度の およめさんがね／
 023Y01 ◆今度の 嫁が／
 024U01 ああ そう そう そう／（笑）
 025U01 ええ なんちゅう お寺ずらなあ／
 026N01 んーとねえ／
 027S01 お寺の かたですか／
 028Y01 なんちゅう お寺・・・／
 029N01 都留でしたよね／
 02 あ の お寺は 都留市でしたよね／
 03 都留市じゃ なかったですか／
 030U01 キヨミさんでしょ？／
 031Y01 ああ そう／
 032U01 うん／

033Y01 都留市だ／
 034N01 都留市ですね | あそこはね／
 035S01 ああ そうですか／
 036Y01 都留市だから やっぱり 大月で おりるですか／
 037S01 そうです そうですね はい／
 038N01 ◆そうですね／
 039S01 ええ／
 040Y01 ねえ？／
 041S01 はい／
 042Y01 でえ どっか 大月で おりて うーん まだ いって みたい
 から わからないんですがね／
 02 あの一／
 043U01 なつかしいでしょう | じゃあ／ (笑)
 044N01 みんな 甲府に ゆかりの ある／
 (笑)
 045Y01 少し いった とこだっちゅうけんどなあ なんちゅう お寺だ
 かなあ／
 02 名前も しらんだよなあ／
 046N01 なんて いったかなあ お寺の 名前ね わすれちゃった／
 047U01 ◆んー キヨミさんのはねー／
 048Y01 その お寺のね 娘を いただいたんですがね／
 049S01 ああ そうですか／
 050Y01 なかなか 縁談が なくてねえ／
 (笑)
 02 こまっちゃいましてね／
 03 そいでね そのね あの 近所の あの一 人が 世話して
 いただいてね そいでね その あの一 娘を もらったですが
 ね／
 051S01 ああ そうですか／

052Y01 ええ だからね でも いい 子でね おかげさんでね／
02 まあ あれ やっぱり 一緒に なんの やだっちゅうから そ
こでね あのー うち みつかって そこで すんできますがね／
03 ／で ちょいちょい まあ うちにも きますけどね／
053S01 ええ／
054Y01 んでも いい 子なんですよ／
055S01 ああ そうですか／
056U01 まず のんで ください／（コーヒーをすすめる）
057S01 はい ありがとうございます／
02 いただきます／
058H01 どうぞ どうぞ／
059U01 あ ブラックですよ！ これ／
060H01 もし これ よかったら／（砂糖をすすめる）
061S01 ◆はい はい いいです／
062Y01 砂糖け？！ そりゃ／
063S01 いつも ブラックだもんですから／
064U01 ああ そうですか／
065H01 お砂糖 あるよ／
066A01 こ・これ 砂糖 これ これ？／
067H01 おばあちゃん これ これ いれて／
068Y01 ◆先生 お砂糖 いれて ください／
069N01 ◆高校まで いらっしゃったんだったら もう あれ ふるさと
は その 大月だって いう そう いう・・・／
070S01 そうですね／
02 ただ まあ 両親が 東京生まれで 疎開して いったもんです
から／
071N01 ◆あっ 疎開で／
072S01 もとものの 父祖の 地って いうんですか は 大月なんです
けれども あのー あんまり なんて いうんですか あの こ

れ 言葉の お話しでね あれ しちゃうんですけども ことば
とかや なんかは やっぱり ちょっと 小さい 時から そんなにね なじめなかった 時期も あったり しまして／

073N01 ◆ええ ああ そうですか うーん／

074H01 ◆うーん／

075S01 でも まあ 今も ははお・母が すんできますし ときどきは
かえるんです／

076N01 ◆ああ そうなんですか／

02 へえ いらっしゃるんですか／

077U01 ◆ああ そうですか／

078S01 ええ ええ／

079H01 ◆へあ はあ はあ はあ／

資料について

- 内藤家資料をご利用になりたいかたは、現代日本語研究会までご相談ください。
- 13号に掲載した「鈴木さん一家」の資料をお使いになって研究中のかた、研究発表等されたかたは現代日本語研究会までお知らせください。なお発表誌等があればお送りいただきたくお願いします。(コピーでも結構です。)